寺報
傘かえで
No.8
発行 遍照山慈光寺
久慈市大川目町22-6
TeL 55-2660
編集 田表永七

あたりを圧する 輝く本堂の屋根

本堂・庫裏屋根葺替工事完了

昨秋10月20日に着工した本堂・庫裏の屋根葺替工事は、好天に恵まれて順調に進み、このほど完了しました。

本堂を中心に、上手に位牌堂、下手に庫裏と続く三つのいらかは、銅板の光を放って荘厳そのもの、辺りを圧する気品が漂っています。

この度の屋根葺替工事は、慈光寺整備委員会（米内 肇委員長）の整備計画に基づいて施行されたものです。

工事は、およそ次のような手順で進められました。

1、本堂の仏像、仏具を庫裏に移動
2、本堂の屋根の解体
3、本堂屋根の骨格木工事
4、本堂屋根の銅板葺き
5、軒天井の塗装

本堂が終わった時点で、仏像、仏具を庫裏から本堂に移し、今度は、庫裏の工事を本堂同様の手順で行いました。

この過程で、新町、中田地区のみなさん、大川目町出身市役所職員、消防署職員有志の方々から労力奉仕をいただきました。

総工費は、五、二一〇万円で、当初計画の五、〇〇〇万円を二一〇万円上まわる結果となりました。

増額となった二一〇万円は、本堂屋根の骨格工事にかかる垂木等に一六〇万円、棟に飾る紋章（9か所）の追加分として五〇万円が支出されたからです。

今回の工事について、その実務を担当して来られた副住職は、四か月余りかかった工事をふり返って、次のように話しておられました。

「施工業者の（株）東北カナメは神社仏閣の専門業者とはいえ、不安がないわけでもありませんでした。でも、終わって見れば、予想以上の出来映えで安心しています。これも、檀家のみなさんや、役員の方々のご協力のおかげと感謝しております。」

さらにつけ加えて、

「檀家のみなさんとともに、完成を喜び合うために落慶式を行いたいと思いますので、後日、役員会で相談していただきたいと思っています。」

とも語っておられました。

記録によれば、慈光寺は、何度か火災に見舞われており、現在の本堂、庫裏、山門は、およそ二〇〇年前に建立されたものとなっております。

今回の屋根工事によって、半永久的な寿命が期待されています。

【写真説明】
屋根葺替工事を終えた本堂、庫裏

法話

彼岸と仏の教え

慈光寺副住職　高谷剋行

短かった日差しもしだいに長くなり、寒さの中にも暖かい空気の流れが感じられる季節になりました。間もなく春の彼岸となります。

この世とあの世の間には、大きな川がある。川の向こう岸を「彼岸」（ひがん）といい、こちらの岸を「此岸」（しがん）といいます。

此岸は、煩悩の火が燃えさかる迷いの世界であり、彼岸は、安らかな静けさの世界である。我々は、煩悩を脱してこの川を渡り、悟りの彼岸に到達したい―。これが仏教の考え方であります。

ところで私たちは、お彼岸というと、どこか遠い国にある別世界のように考えてはいないでしょうか。

〝極楽〟、〝浄土〟、〝仏の国〟と呼び方はさまざまですが、いずれも彼岸のことであります。

お釈迦さまは、その彼岸は、私たち自身の足元にあると考えなさいと教えられております。

道歌（どうか）＝心学の趣旨を詠んだ歌＝にも、

極楽は　東にもなく　西になし
北（来た）道探せ　南（皆身）にあり

と、詠まれておりますが、私自身、ふりかえってみれば、ただ慌ただしく日々を送り、ともすれば仏の教えを見失い、心と行いがバラバラになった生活を繰り返しがちであります。

私たちは、今日只今、幸いにして仏の生命をいただいているわけですから、お釈迦さまの教えを味わい、この世を彼岸に近づけるため、少しでも多く仏縁を重ねたいものであります。

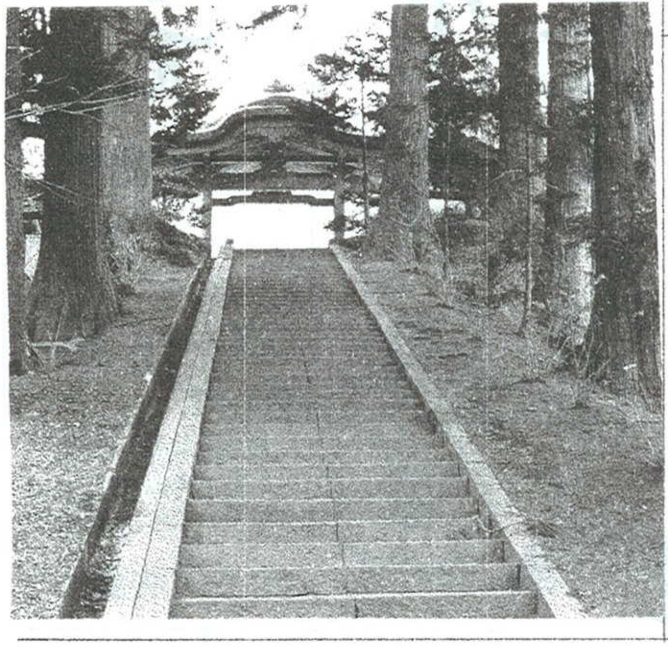
春彼岸　菩提の種を蒔く日かな

慈光寺百景②

山門

今からおよそ二〇〇年前の寛政年間後半に建立され、現在に至っている。

市道から入った杉並木を約二五〇メートル進んだところに石段がある。その石段を四八段上ったところに、泰然として信徒を迎える山門。気仙大工の手になる姿が美しい。



お彼岸には楽しい企画がいっぱい

メーンは、〝お説教〟と〝懇親会での歌と踊り〟

3月20日は、春彼岸の中日です。慈光寺では、恒例の「春彼岸大供養」を行います。

当日は、各地区の壇家から老若男女が訪れ、大変にぎわいます。

12時から受け付、1時から〝百万遍念仏〟が行われ、ご先祖の霊への祈りが捧げられます。その後、参加者の懇親会に移行して、冒頭に、住職の〝お説教〟が行われます。

続いて行われるアトラクションは、アルコールの助けも借りて、大にぎわいとなります。

まさに、お寺は〝一般市民の日常生活とともにある〟ことを実感させられます。

どうぞ、初めての方もさそって気軽においで下さい。

一、会費　五〇〇円
一、受付　正午から

奉仕ご披露

◎本堂、庫裏の仏具移動と本堂、庫裏の大清掃

・新町地区檀家のみなさん
・中田地区檀家のみなさん
・大川目町出身市役所、消防署職員有志

寄進ご披露

◎聖観音立像（木彫）
台座とも総丈２ｍ
・藤森キノエさん

位牌堂内に安置させていただいております。